平成の大涅槃図　１１年４月８日完成　横４５メートル×縦８メートル

六山めぐりの由来

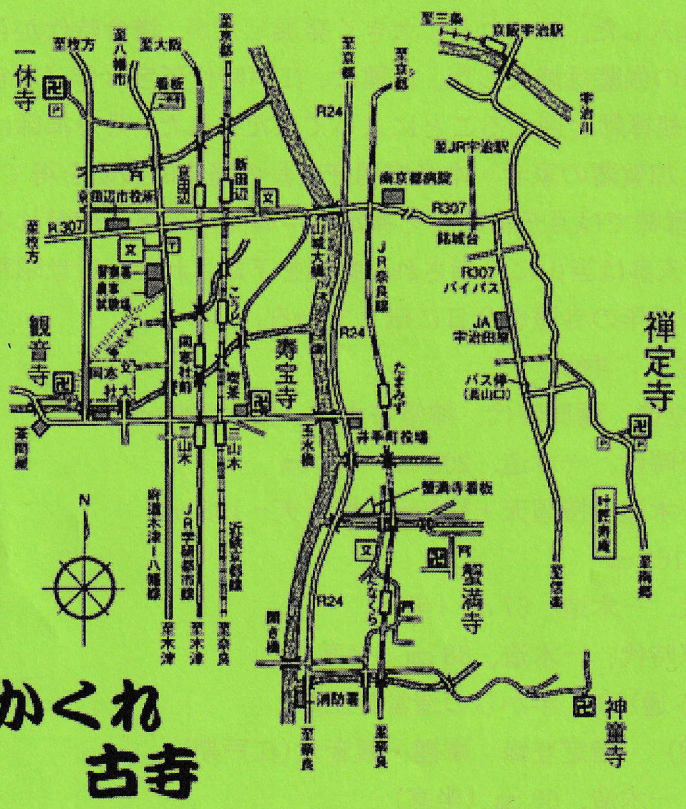
昔から仏教では「六」という字がよく使われます。これは、お釈迦様のみ教えの中の「六波羅蜜（六度）」に由来しています。

私たちが生きている現実の暮らしの世界を「此岸」迷いの世界といいます。そこには貪りあり、邪悪あり、怒りあり、欲望のうずまく世界です。その反対の世界を「彼岸」悟りの世界といい貪りもなく、悪もなく、怒りも、怠けも、乱れもない心のよく落ち着いた悟りの世界です。

私たちは、此岸から彼岸に渡りたいと願っています「此岸即彼岸」という言葉のように、現実の暮らしの中に見出したいものです。しかし、彼岸に渡るには修行が必要ですそしてその修行とは、六波羅蜜の教えを実行することなのです。

「六山即六波羅蜜」といわれるように、その六波羅蜜を実行する為に、六つのお寺を巡拝することが行われています。

南山城六山案内図



◎ 蟹満寺・布施波羅蜜・・物でも心でも惜しまない
◎ 神童寺・持戒波羅蜜・・仏さまの戒めをよくまもる
◎ 観音寺・忍辱波羅蜜・・辱めや苦労を忍ぶ
◎ 寿宝寺・精進波羅蜜・・思いきり力を出し尽くす
◎ 禅定寺・禅定波羅蜜・・心落ち着け身を正す(坐禅)
◎ 一休寺・智慧波羅蜜・・命の尊厳と真理に目覚める